

自分を、信じろ。



映画史上最大の遺産が今、スクリーンに甦る!



第35回アカデミー賞<sup>®</sup>7部門受賞

作品賞 | 監督賞 | 撮影賞 | 作曲賞 | 美術監督・装置賞(カラー) | 音響賞 | 編集賞

デヴィッド・リーン生誕100周年記念

# アラビアのロレンス

|| 完全版 || ニュー・プリントバージョン ||

Lawrence of Arabia

アレック・ギネス/アンソニー・クイン/ジャック・ホーキンス/ホセ・ファーラー/アンソニー・ケイル/クロード・レインス/アーサー・ケネディ  
ピーター・オートール(ロレンス) オマー・シャルフ(アリ) 名匠デヴィッド・リーン監督 鬼オサム・スビーゲル製作  
テクニカラー バナビジョン コロンビア映画

コロムビア映画創立85周年



テアトル東京 CLASSICS

# スクリーンで見ることが出来る最後の超大作!

## 名匠デヴィッド・リーンの挑戦と、2人の大スターの誕生

完成から50年近く経つ今も、『アラビアのロレンス』を超える映画は現れない。巨大なスケールの映像スペクタクル、ドラマティックで奥深いストーリー、監督の名演出とキャストの熱演、忘れられないテーマ音楽——こんな作品は2度と作られることはないだろう。遙か遠い場所から水道を引いて砂漠の真真中に町を建設し、1年6ヶ月かけて撮影した本作は、アカデミー賞最優秀作品賞を始め7部門を獲得した。これは映画の神様が、1度だけ人間に許してくれた“奇跡”の作品なのだ。

原作は、実在の人物であるロレンス自身が書いた「知恵の七柱」。エジプトのカイロから始まり、驚愕の砂漠横断を成し遂げて、エルサレム、ダマスカスへと至るロレンスの行軍は、映像化不可能だと言われた。しかし、『逢びき』『大いなる遺産』などで知られる英国の名匠デヴィッド・リーンの『戦場にかける橋』でもコンビを組んだプロデューサー、サム・スピーゲルと共に数々の難題に挑戦、映画史に燦然と輝く金字塔を打ち立てた。

心を揺さぶる旋律を手がけたのは、映画音楽界の第一人者で、



リーンの『ドクトル・ジバゴ』『インドへの道』と本作で、アカデミー賞を受賞したモーリス・ジャール。ロレンスを演じたピーター・オートールと、彼を崇拝するアリに扮したオマー・シャリフも、本作でアカデミー賞にノミネートされた。

## 美しくも苛酷な砂漠で奇跡を起こした男の光と影

時は1914年。第一次世界大戦に揺れるアラビアは、ドイツと手を結んだトルコ帝国の圧政に喘いでいた。ドイツの勢いを抑えたい英国は、天才的な戦略家として知られるロレンスをアラビアに派遣する。アラビ王族のファイサル王子の軍事顧問となったロレンスは、ハリト族のリーダー、アリや黄金を探し求めるアウダらを仲間に加え、反乱軍を組織する。常識を覆す独自のゲリラ戦法を駆使し

て快進撃を続けるロレンス。英国人でありながら、アラビアの人々の自由のために戦ったロレンスは、“砂漠の英雄”と讃えられる。

だが、ロレンスは次第に、所詮自分は英国軍の駒のひとつでしかなく、上層部に利用されているだけだと気付いていく。アラビアの人々による統一の夢もまた、部族間の対立で消えていく。果たして、栄光を手にしたはずのロレンスが、見たものとは——?

## 今を生きる私たちが求める、弱さと強さを秘めた真のヒーロー

ロレンスは様々な矛盾や悩みを抱えた、人間味に溢れるヒーローだ。常識や前例にとらわれず、「運命などない」と宣言し、常に己の魂から湧き上がる声に耳を傾け、自分を信じて前へ前へと進み続ける。そんなロレンスこそ、傑出したリーダーなき時代を迎えた混迷の現代社会が求める、真のヒーローではないだろうか。

デヴィッド・リーンの生誕100周年記念

## アラビアのロレンス

|| 完全版 || ニュー・プリントバージョン ||

Lawrence of Arabia

監督:デヴィッド・リーンの 出演:ピーター・オートール オマー・シャリフ アレック・ギネス アンソニー・クイン ジャック・ホーキンス ホセ・ファラー

1989年/イギリス映画/35mm/カラー/スコープサイズ/ドルビー・SAD/227分 配給:ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント 後援:朝日新聞社 宣伝:アステア

テアトル東京 CLASSICS

コロムビア映画創立85周年



12月20日(土)最後の超大作が  
より国内最大級のスクリーンでロードショー!

特別鑑賞券発売中¥1,300(税込) 当日料金:一般 ¥2,000/大・専・シニア ¥1,500/小・中・高 ¥800

上映期間中、テアトルタイムズスクエア劇場にてユニセフ募金にご協力いただいた方に「アラビアのロレンス」特製ポストカード(3種1セット)をプレゼント(数量限定)いたします。 協力:南平凡社、朝新書館、ピクチャーエンタテインメント

JR新宿駅新南口すぐ タカシマヤタイムズスクエア12F

テアトル SHINJUKU 03-5361-1937  
タイムズスクエア www.cinemabox.com  
全席指定(初回を除く)

連日 10:25 14:45 19:05

1/1は休館。12/31及び1/2の19:05の回休映。